

発議第6号

まちづくり政策提言の提出について

標記の議案を別紙のとおり、遊佐町議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和7年9月22日

遊佐町議会

議長 高橋冠治 殿

提出者 遊佐町議会議員 遊佐亮太

賛成者 遊佐町議会議員 那須正幸

同 土門治明

同 沢谷敏

同 伊原ひとみ

(別 紙)

まちづくり政策提言

遊佐町において人口減少は大きな課題であり、この課題には多方面にわたる分野の施策が求められている。

本町では現在、総合的かつ計画的なまちづくりの指針となる新たな総合発展計画の策定に向けて、準備が進められているなか、本提言が議会の総意としてまとめられたものであることを認識され、施策に反映されるよう望む。

記

(子育て・学びの環境充実)

1. 放課後児童クラブ等の定員と充足率の公開を長期休暇に関しても行い、待機児童がどれぐらいいるかを計る仕組みを作る。
2. 町内外へ通う高校生へ、通学費・学用品など切れ目ない支援ができるよう、必要な補助制度を創設する。
3. 賃貸住宅の供給不足の現状を踏まえ、空き家対策と連携し、賃貸住宅としての利活用を拡充させる。

(実効性ある防災拠点整備と共助体制の構築)

1. 町が主体となり、自主防災組織を実効性のある活動体制へ強化する。
2. 指定避難所や防災拠点となる施設への食料・水・生活用品の備蓄を充実させる。
3. 発災時に住民の避難・救護拠点として機能するよう、これまで締結済みの災害協定を精査及び更新し、締結企業・団体の公開を行う。

(農業担い手育成と産業活性化)

1. 農家に生まれ育った子どもが地元に戻り農業を担いやすくするために、「親元等独立就農者支援事業」をはじめとした各種補助メニ

ューのさらなる強化を図り、周知徹底し、その活用状況を公開する。

2. 地域おこし協力隊事業を活用し、地元農家の元で任期中の3年間に農業研修を行い、除隊後は後継者として就農できる仕組みを整備する。

(関係人口を拡げる学習・交流プログラム)

1. 将来に向けた関係人口拡大の施策として、首都圏等の幼児・児童・生徒・学生を対象に、教育旅行（保育園留学・修学旅行）の誘致を進め、受入件数・参加者数を公開する。
2. 郷土愛を育むため、児童・生徒自らが地域について調査・分析し意見交換を行いながら学びを深める「探究学習」を進める。

令和7年9月22日

遊佐町議会議長 高 橋 冠 治

遊佐町長 松 永 裕 美 殿